

広報 三重地域センター 令和7年1月号

長崎市役所 三重地域センター R6.12.12 No.45号
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1
業務時間 平日8:45～17:30
電話 095-850-1111 / FAX 095-840-1001
E-mail:br_mie@city.nagasaki.lg.jp

三重地域センター管内人口19,832人(男9,624人 女10,208人)8,602世帯(令和6年11月末現在)

～ふるさとの豊かな自然を守るため～ 地域一丸となって清掃活動を行いました!!

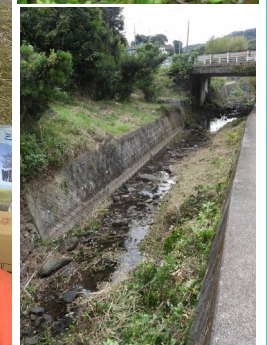
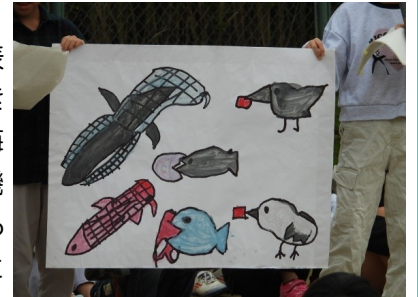
11月17日(日)三重小学校区青少年育成協議会「のびのび少年デー」の行事として、児童・教職員や保護者のほか、自治会、老人クラブ、三重小学校区まちづくり協議会等のたくさんの個人や団体が参加し、地域をあげて一斉に清掃活動が行われました。

清掃に先立ち、3年生児童が海洋ごみ問題について総合学習の成果を発表しました。手作りの資料を掲げ、「海の生き物たちが困っています」と生き物たちを苦しめるプラスチックごみの実態に触れながら、2050年には海の中のごみが魚の量を越えてしまい魚が絶滅してしまうかもしれないと危機感を訴えました。「皆さん、海の近くにゴミを捨てていませんか?」「ふるさとの海の豊かさを守りたい」「三重の海が将来も美しくあって欲しい」との思いとともに、「三重の海を一緒にきれいにしましょう」と力強く呼びかけました。参加した地域の方々も熱心に聞き入り、子ども達に刺激を受けて、地域における環境保全の意識がさらに高まったのではないかと感じました。

清掃活動は三重町の三重漁港から畦浜にかけての一带、榎山町の広浦海岸及び三重田町の杉谷川に分かれて行われました。港湾の草むらや海岸の砂浜には空き缶やタバコの吸い殻のほか、漂着ごみが大量に散乱していました。参加した皆さんは一律にごみの多さに驚くとともに、丁寧にゴミを拾い集めていました。杉谷川では地元の自治会のほか、近隣の事業者の方も協力し、重機を使って繁茂した樹木の伐採を行うとともに、切り立った場所や石垣では手作業での草刈りなどが行われ、さらに美しい川の姿が現れました。地域の方々がかかるふるさとの海や川を大切に思う気持ちが伝わってくるとともに、環境保全の取り組みとして継続した清掃活動が必要であることも強く感じました。

清掃活動の後は、三重小学校区まちづくり協議会により、参加者の方々の交流を目的とした「つみれ汁」のふるまいが行われ、大人も子どもも和気あいあいと談笑しながら作業の疲れを癒していました。同協議会では昨年度から豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐため、他の団体とも連携しながら活発に海岸清掃活動を行っています。令和6年2月に開催された三重地区公民館まつりでは、海岸で回収したシーグラスを使用したアクセサリー作りコーナーを設け大好評でした。

今回の清掃活動は天候が心配されましたが無事に終了し、地域一丸となった作業でたくさんのごみが回収されました。参加された皆様、大変お疲れさまでした。



みんなで災害に備えよう！ 鳴見台小学校区で「防災フェスタ」が開催されました！！

12月8日（日）鳴見台小学校にて「防災フェスタ」が開催されました。防災講話や防災体験を通して地域の防災意識を高めることを目的に、鳴見台小学校区コミュニティ協議会が主催したもので、子どもから大人まで地域住民の方々約150人が参加し、特にご家族での参加が目立ちました。

長崎市防災危機管理室による防災講話では、過去に発生した災害と被害状況のほか、災害の前兆や被害を防ぐ行動について説明があり、正確な情報を入手しハザードマップを活用しながら警戒レベルに応じた行動をとるよう呼びかけました。「自分だけは大丈夫」という正常性バイアスを抑制し災害に対する危機感を持つことの重要性が説かれ、参加された方々は熱心に聴講していました。その後、参加者がグループに分かれ、応急担架での搬送法や段ボールベッドの組み立て、AEDを使った応急手当等の訓練を実践。熱心に質問する様子も見られ、皆様とても真剣に取り組んでいました。

屋外では煙体験、消火器による初期消火訓練、消防自動車の乗車など多彩なコーナーが設置され、子ども達も興味津々でした。

今回の防災フェスタは三重地区消防団40分団も運営に協力し、とてもわかりやすい説明をしてくださいました。また、鳴見台小学校区青少年育成協議会の協力により、温かいうどんの炊き出しも行われ、参加者へふるまわれました。

幅広い世代の方が防災意識を高める良い機会になるとともに、地域防災力の維持向上にも繋がる有意義な内容でした。参加された皆様、大変お疲れ様でした。



火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いに十分注意してください！！



消防団員を募集しています
活動内容、手当、応募資格など、詳しくは
長崎市ホームページをご確認ください。→
【長崎市消防局予防課 TEL095-822-0425】



畝刈小学校区青少年育成協議会「ふれあい広場」が開催されました！

11月16日（土）畝刈小学校区青少年育成協議会（指方安代会長）による「令和6年度ふれあい広場」が開催されました。4年生による美しい合唱のほか、学童ドリームガーデンによる勇壮な和太鼓演奏や、地域の方々による民踊が披露されました。屋外でもイベントが開催され、各自治会の方々がたくさん子ども達と昔遊びなどで楽しく交流しました。多以良町自治会の「わら細工」コーナーでは、しめ縄作りに夢中になる子ども達が続出し、初めてとは思えない出来上がり笑顔を見せていました。畝刈町自治会では「グラウンドゴルフ」が大人気。地域の方々優しく指導し、子ども達はすぐに上達。とても温かい時間が流れていました。京泊自治会の「竹細工」では、子ども達が竹とんぼの飛ばし方を習い大喜び。お友達と一緒に運動場で駆け回り、腕を競っていました。地域の方々に温かく接していただきながら、子ども達は心身ともに健全に成長していることが伝わってきました。



三重小学校で収穫祭!! 地域とともに歩み学んだ農業体験! 心も豊かに育っています!

三重小学校区まちづくり協議会では、子ども達の農業体験事業を計画し昨年度から活動に取り組んできました。長崎市農業委員の野本英世さんが中心となり、日頃から農業に関わる地域の方々も協力し、三重小学校児童への指導や草刈り作業等を行ってきました。子ども達は3月の種芋植え付けから始まり、秋の稲刈りや芋掘りを終え、立派な米とサツマイモを収穫することができました。暑い夏の日々の草刈り作業や、昔ながらのかんころ作りも体験することができ、四季折々の作業を通して自然の恵み、食の大切さ、農作業の大変さを学び貴重な機会となっていました。地域の方々も田畑の荒起こしからイノシシ防護柵の設置、時機を見ながら草刈りなど、大変な作業をして支えて下さいました。

そして、今年度の農業体験の集大成として、12月5日(木)「収穫祭」が開催され、三重の郷土食であるかんころ餅作りが行われました。子ども達は学年ごとに交代で、機械でのもちつき作業を見学し、地域の方に教わりながら白餅を丸めたり、かんころ餅を箱で成形する作業を行いました。子ども達だけでなく、教職員の皆さんもかんころ餅をつく工程を見るのは初めてとのことで、興味深そうにしていました。



かんころ餅をつく作業はとてもしっかりと力がかかるもので、三重では昔からご近所や親類で助け合いながら作業をし、現在まで受け継がれています。今回も地域の方々協力し合い、大量のかんころ餅が出来上がりました。



子ども達が「強く・正しく・美しく、心豊かに」育つことを願い、地域の方々協力して実施してきた農業体験事業。子ども達はみな充足感溢れる笑顔を見せていて、作物を育て加工するという体験を通して心身ともにたくましく成長したように感じました。



また、今回の事業は長い間耕作されていなかった田畑を活用した事業であり、遊休農地の利活用や耕作放棄地の解消に繋がるものとしても注目されました。活動に関わった皆様、大変お疲れさまでした。

長年のご功労に感謝申し上げます

11月23日(土)長崎県による令和6年県民表彰式が開催され、三重地域では「保健・環境」の分野で多大な功労があった橘 勝康様が受賞しました。橘様は、長崎県環境審議会委員等として、多年にわたり環境に係る計画の策定や事業の評価等にご尽力され、環境保全の推進に大いに貢献されました。元長崎大学水産学部長であり現在は名誉教授である橘様は、食品科学等の分野においても長年にわたり多大な功績があり、長崎県の水産振興にもご尽力されました。養殖魚の研究や長崎俵物などの水産加工品の技術開発においても橘様が大きな推進力となり水産振興・商業振興に繋がる大きな成果が得られています。水産分野に関する学識が高く、熱意溢れる橘様の今後益々のご活躍が期待されます。このたびは誠にありがとうございました。



橘 勝康様

また、11月9日(土)長崎市の「令和6年度ながさき自治振興推進大会」において、永年、自治会役員等として地域のためにご尽力された皆様に、長崎市長から感謝状が贈呈されました。

三重地域では次の方々に贈呈されました。皆様のこれまでの活動に対し、心より感謝申し上げます。

永年在職自治会長(10年) 中嶋 智子様 (市営三重アパート第二自治会)

永年在職自治会長(5年) 岩下 敏松様 (多以良町自治会)

永年在職自治会長(5年) 西川 まりな様 (京泊県住1棟自治会)

コミュニティバスの運行を検討しています！いっしょに考え、みんなで取り組もう！！

三重小学校区まちづくり協議会では、生活環境の課題解決に向けてコミュニティバスの実現を検討しています。11月21日（木）三重小学校区内の自治会、老人クラブ、民生委員の方々を対象に、「これからの三重小学校区の移動支援について」と題した講演会が開催されました。講師の松永 裕介様（南島原市社会福祉協議会生活支援コーディネーター）が、南島原市新切地区における移動支援の取り組み事例を紹介し、移動に関する課題について参加者同士で話し合うグループワークが行われました。



南島原市新切地区では、住民の高齢化のほか、公共交通機関の減便や近隣の商店が閉店する等の事情により買い物のための移動支援が喫緊の課題でした。松永様を中心となり、民生委員の協力により訪問アンケートを実施。アンケートの結果、移動支援は緊急性・必要性が高いことが見えてきました。令和2年、地元の社会福祉法人・長和会の協力を得て、同年8月買い物支援バスが本格的に運行開始されました。買い物支援バス事業は利用者の安否確認や生活実態の把握等にも活用でき、高齢者の孤独感解消や閉じこもり防止にも高い効果が期待されています。地域の課題を住民と地域の法人が解決した事例として、注目されています。

グループワークでは参加者が三重地区に問題を置き換えて、現在困っていることとその解決策について、活発に意見交換を行いました。「将来も運転できるか不安なので、コミュニティバスが欲しい」「通院のため無理して運転している人もいる」等の意見が出されました。最後に松永様より「皆さんはこの地区に長く住んでいて交流が盛んなので課題を解決できると思う」と感想をいただきました。三重小学校区まちづくり協議会では今後も畝刈小学校区及び

鳴見台小学校区の各協議会とも情報共有や連携を図りながら検討を進めて行きたいとのことです。



応援してくださる地域の皆様への感謝を込めて「第31回鳴見台小はばたき感謝祭」

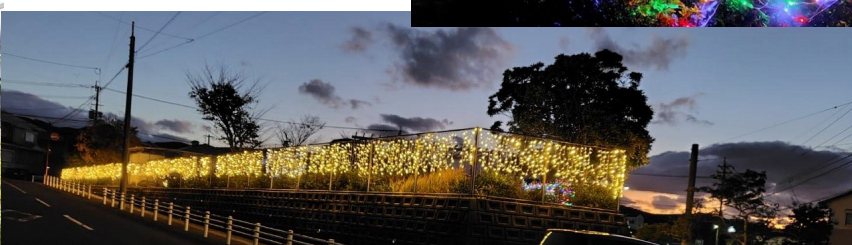
第31回鳴見台小学校はばたき農園感謝祭が、令和6年11月17日（日）鳴見台小学校で開催されました。子ども達は、保護者OBや地域の方々に構成された「はばたき農園応援団」の指導や支援により種まきから収穫までを体験学習してきました。当日は地域の方々もたくさん集まり、収穫したもち米で本格的な餅つきが行われました。



1年生の中には餅つきをするのが初めての児童もおり、はじめのうちは不安そうにしていたようですが、地域の方と一緒に杵で力強くついていました。また、運動場では“コマ回し”や“けんけんば”など「昔遊び」の体験コーナーがあり、子どもたちのほとんどが未体験のものばかりで、保護者や地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。

癒しの空間!! 鳴見台に今年もイルミネーションが灯りました！

11月30日（土）鳴見台小学校区コミュニティ協議会の地域交流の活性化策の一環として、鳴見台中央公園の植木とフェンスにイルミネーションが設置されました。協議会役員と地域の方々15名程で作業を行い、公園内にとっても美しい風景が広がりました。点灯期間は12月1日（日）～1月31日（金）、点灯時間は午後5時から午後9時まで。昨年より電球の数を増やし、規模を拡大したことでさらに色鮮やかになり癒されます。



SNSでも地域情報を発信しています。



ホームページ



X



Facebook